【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公開番号】特開2000-5153(P2000-5153A)
【公開日】平成12年1月11日(2000.1.11)
【出願番号】特願平11-148367
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/145　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　21/27　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/49　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/14　３１０
Ｇ０１Ｎ　21/27　Ｚ
Ｇ０１Ｎ　33/49　Ｗ

【手続補正書】
【提出日】平成18年5月25日(2006.5.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
パルス酸素濃度計測で得られる脈拍数を表す第一信号と、心拍数を表す第二信号とを受信する一致度認識ユニットにおいて、前記一致度認識ユニットが、
第一信号と第二信号との間の一致度を表す第三信号を生成する一致度検出ユニット（２０）を有することを待徴とする一致度認識ユニット。
【請求項２】
前記第三信号を受信し、前記第三信号が与えられた限界に関して予め定められた関係を超える場合に、第四信号を生成する一致度評価ユニットを更に有する請求項１に記載の一致度認識ユニット。
【請求項３】
前記一致度検出ユニットが、前記第一信号と前記第二信号との間の一致度を測定するための装置を備える請求項１に記載の一致度認識ユニット。
【請求項４】
前記一致度検出ユニットが、
前記第一信号と前記第二信号とを受信して、該第一信号と第二信号との間の差を表す差信号を生成する加算回路と、
前記差信号を予め定められた限界と比較し且つその差信号に対応する出力を生成する第一比較器と、
前記第一比較器から受けた前記出力を加算する積分回路と、
前記積分回路によって供給された信号を、１つ以上のしきい値と比較し且つ第三信号を生成する第二比較器と、
を備える請求項１に記載の一致度認識ユニット。
【請求項５】
前記一致度検出ユニットが、更に、前記差信号を受信して該差信号の絶対値を生成する絶対値発生器を備え、それによって、前記第一比較器が前記差信号の絶対値を受信し且つそれを予め定められた限界と比較して、該差信号の絶対値に対応した出力を生成する請求

項４に記載の一致度認識ユニット。

【請求項６】

パルス酸素濃度計測ユニットにおいて、

脈拍数を表す第一信号を発生するパルス酸素濃度計と、

心拍数を表す第二信号を発生する心拍数決定ユニットと、

請求項１から５のいずれか１つの一致度認識ユニットと、

を有して構成され、

それによって、前記一致度認識ユニットは、前記パルス酸素濃度計からの第一信号と、前記心拍数決定ユニットからの第二信号とを受信し、且つ該第一信号と該第二信号との間の一致度を表す第三信号をパルス酸素濃度計へ送信して測定された酸素飽和値の精度を確認するパルス酸素濃度計測ユニット。

【請求項７】

前記一致度認識ユニットが脈拍数と心拍数との間の不一致を認識する場合に、前記一致度認識ユニットが前記パルス酸素濃度計へ警報信号を送信して酸素飽和値が十分な精度か無く及び／又は無効であることを知らせる上記６記載のパルス酸素濃度計測ユニット。

【請求項８】

パルス酸素濃度計によって測定された酸素飽和値の精度を確認する方法において、

（ａ）パルス酸素濃度計測から得られる脈拍数を表す第一信号と心拍数を表す第二信号とを受信するステップと、

（ｂ）前記第一信号と前記第二信号との間の一致度を表す第三信号を生成するステップと、

を有する酸素飽和値の精度確認方法。

【請求項９】

更に、前記第三信号が与えられた限界に関する予め定義された関係を超える場合に、前記第三信号から第四信号を生成するステップを有する請求項８に記載の酸素飽和値の精度確認方法。

【請求項１０】

更に、前記脈拍数と心拍数との間の不一致が認識される場合に、前記パルス酸素濃度計へ警報信号を送信して、前記パルス酸素濃度計で測定される場合の酸素飽和値が十分な精度が無く及び／又は無効であることを知らせるステップを有する請求項８又は９に記載の酸素飽和値の精度認識方法。